

★の部分各園で作成

アプローチカリキュラム作成例

令和3年度版

	0歳～年長9月	～10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月(1年生)～	5月	6月	7月		
育むべき資質・能力	<p>生きる力の基礎</p> <p>5領域の学び 健康 人間関係 環境 言葉 表現</p> <p>◎知識・技能の基礎(気付き、できるようになること) ◎思考力・判断力・表現力等の基礎(試し・工夫すること) ◎学びに向かう力・人間性等(やってみたいことに向けてがんばること)</p> <p>遊びを通した総合的な学び 無自覚な学び</p> <p>アプローチカリキュラム 円滑な接続 スタートカリキュラム</p>												
活動の柱	<p>A 学びの芽を大切に活動の充実</p> <p>◎知的好奇心を育み、自ら学ぶことができるようになります。</p>		<p>B 協同的な遊びや体験の充実</p> <p>◎人とのつながりを実感し、友達とともに目標を達成する喜びを感じることができるようになります。</p>		<p>C 自立心を高め新しい生活をつくり、安心して就学を迎えられる活動の充実</p> <p>◎成長を実感し、自信をもって新しい生活をつくるようになります。 ◎小学校との交流を通して、安心して就学できるようにします。</p>		<p>幼児期に身に付けた力を発揮して、各教科等の学習に円滑に移行し主体的に学ぶことができますようにします。</p> <p>学級の一員としての自覚をもって、協同的に活動することができますようにします。</p> <p>安心して学校生活をスタートし、集団の中で自己発揮できるようにします。</p>					<p>スタートカリキュラムのねらい</p>	
主な活動★	<p>A ・散歩 ・クッキング ・バイキング ・給食クイズ ・遠足 ・芋ほり ・防犯安全教室 ・公園のごみ拾い ・リース作り ・季節の遊び(虫取り 秋遊び 氷遊び等) ・ゴーヤ、ヒマワリ、マリーゴールドの栽培 ・チューリップの栽培 ・環境教室(資源循環局) ・高齢者施設の訪問</p> <p>B ・鉄棒、パルーン ・運動会 ・劇あそび、わらべうた ・わくわくデー ・お別れ遠足 ・リズム遊び ・お店屋さんごっこ、おばけやしき ・ドッジボール ・集団遊び(どろけい、リレーなど) ・縄跳び ・季節の行事(お正月あそび・節分・夏祭り・ひなまつり他) ・卒園式</p> <p>C ・運動会 ・劇あそび ・わくわくデー ・お別れ遠足 ・お店屋さんごっこ、おばけやしき ・年下児クラスの手伝い ・縄跳び ・季節の行事(お正月あそび・節分・ひなまつり他) ・卒園製作、卒園文集作り ・卒園式 ・当番活動(人数報告、給食配膳、水やりなど) ・ハンカチ、上履きの使用 ・小さな音楽会(3年生との交流) ・5年生との交流 ・なかよし会(1年生生活科交流) ・小学校訪問</p>												
配慮事項	<p>・集団遊びや、運動遊びなど心身を十分に働かせ、意欲的に運動し、健康で安全な生活をつくる。その際、活動が負担になりすぎないように留意する。(健康な心と体)</p> <p>・遊びや活動の中で自己を十分に発揮し、最後まで粘り強くやり遂げ、達成感を味わう。意欲や頑張る姿を認め、自信をもてるようにする。(自立心)</p> <p>・運動会や、お楽しみ会等で、共通の目的の実現に向け、考え、工夫し、みんなで協力して取り組み、やり遂げる喜びを味わう。見通しや振り返りを大切にする。(協同性)</p> <p>・友達と活動する中で、善悪の区別をつられるようにし、相手の立場に立って行動できるようにする。集団遊びでの決まりの大切さについて考えられるようにする。葛藤場面には保育者が丁寧に関わり、自己の気持ちに整理をつけられるようにする。(道徳性・規範意識の芽生え)</p> <p>・地域の方たちとの交流を通して、自分たちが大切にされていることに気付き、人との関わり方がわかる。遠足や園外活動等を通して公共施設を大切に利用するなど、社会とのつながりを意識できるようにする。(社会生活との関わり)</p> <p>・生活の中で、物の性質や仕組み、数や図形、言葉や文字、時間、標識など様々なものに興味を持ち、気付いたり、考えたり、試したりする。また、友達の考えにふれ、自分の考えを広めたり、深めたりする。カレンダーや時計等を活用し見通しがもてるようにする。(思考力の芽生え、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)</p> <p>・季節の遊びや飼育・栽培活動等を通して、身近な自然に触れ、興味をもって親しむ。感じたことを絵や制作などの表現につなげる。(自然との関わり・生命尊重)</p> <p>・絵本や物語、童歌等に親しみ、言葉からイメージを膨らませる。自分の思いを相手に伝えるように話したり、相手の話を真剣に聞いたりする。(言葉による伝え合い)</p> <p>・生活や行事等で感じたことや考えたことを、言葉、絵、音楽、身体表現等さまざまな方法で表現する活動を通して、表現することの楽しさを味わう。(豊かな感性と表現)</p> <p>・小学校との交流や、卒園に向けた取組を通して互いの成長を喜び合い、意欲と自信を持って生活する。(自立心、就学への期待)</p> <p>・就学に向けての期待、不安を受け止め、安心して過ごせるようにする。また、生活リズムや時間を意識した生活環境を取入れ、自分たちで生活を進めていけるようにする。</p>												
幼保小連携★	<p>・幼保小担当者会議(幼保小交流日、内容の打ち合わせ) ・小学校の授業参観 ・入学説明会に参加 ・要録の送付</p> <p>・幼保交流 ・幼保小の交流(園訪問 学校訪問 給食交流) ・各就学先小学校職員との引き継ぎ</p> <p>・入学式・卒業式に参加</p>												
家庭との連携★	<p>・活動の中で見られる子どものよい姿を伝え、成長を共に実感し、肯定的に見守っていけるようにする。</p> <p>・学校は楽しいところという期待感を家庭、園で共に膨らませていけるようにする。</p> <p>・保護者が安心感をもてるよう、就学後も小学校との連携で子どもを見守っていくことを伝える。</p> <p>・就学に向け生活のリズムを整え、基本的な生活習慣が身につくように園と家庭で連携し取り組んでいく。</p>												

小学校の一日

先生や学校ボランティア、PTAの方が安全を見守ってくれています。



ゆったりとした気持ちで一日をスタートできるよう、自由に活動する時間を設けている学校もあります。この日は上級生が読み聞かせをしています。

なかよしタイム



1年生の最初は、心をほぐし、友だちとの関係を築き、安心して生活や学習ができるような工夫をしています。

わくわくタイム



ぐんぐんタイム



子どもたちのやりたい気持ちを大切にし、活動や体験をもとに問題解決を図る学習をします。



給食の準備やそうじも、役割を分担して自分たちで進めます。



保護者の安心のために小学校とともに取り組むこと

◎保護者へ学校行事等の情報提供
◎写真等で交流の様子やねらいを伝える

園との連携

- ・入学直後のなかよしタイムへの保育者の参加
- ・入学当初の授業参観と情報交換
- ・保育参観

横浜市ではスタートカリキュラムを「なかよし」「わくわく」「ぐんぐん」の3つの時間帯で編成しています。

